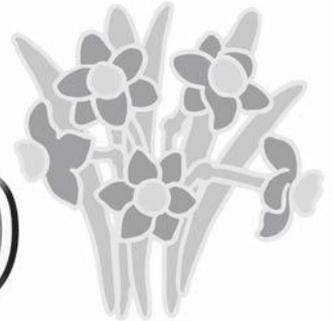


和泉市議会だより



市の花「すいせん」

議会役員を改選

議長に ^{よしかわ}吉川 ^{しげき}茂樹 議員
副議長に ^{おおaura}大浦 ^{まさし}まさし 議員

第3回定例会を開催

市議会では、令和元年第3回定例会を9月9日から10月3日までの25日間の会期で開催しました。

市役所庁舎整備に関する諸問題について、平成24年から23回にわたり調査及び審査を行ってきた庁舎整備特別委員会において、「和泉市新庁舎整備事業実施設計概要（案）」が示され、新庁舎建設に向けた市としての方向性も出されたことから、委員会の一定の目的を達成したことで、庁舎整備特別委員会の終了を全会一致で決定しました。（今後、

新庁舎整備に関しては常任委員会等で協議いたします。）

また、平成30年度的一般会計、特別会計5件、企業会計3件の決算認定については、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となりました。この審査の結果は、次号でお知らせいたします。

※正副議長をはじめ、各常任委員会等の委員の改選の詳細については2・3頁を、その他の審議結果については4頁をご覧ください。

就任のごあいさつ



第 66 代副議長

大浦 まさし



第 66 代議長

吉川 茂樹

市民の皆さまにおかれましては、日頃より市議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、第66代市議会議長並びに副議長に就任させていただきました。身に余る光栄と感謝申し上げますとともに、円滑な議会運営のため最善を尽くす所存でございます。さて、わが国では、今後ますます人口減少・少子高齢社会が顕著となってくる中、本市におきましても、しっかりと将来を見据えたまちづくりを実現するため、社会情勢に

対応した取り組みが必要不可欠です。

今日特に市議会に求められていることは、執行機関に対する監視機能はもとより、様々な課題解決のために必要な政策の提言を行うことも重要だと考えます。

これからも市政の発展と市民福祉の向上のために建設的な議論を重ね、信頼される議会の構築をめざしてまいります。今後とも市議会に対し、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

監査委員は、市の財務に関する事務の執行及び経営にかかわる事業の管理を監査します。



議会選出監査委員
はっとり とし お
服 部 敏 男



議会の新しい委員等構成

◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順に掲載

主な所管事項

- ◇ 市の総合企画、行政経営に関すること
- ◇ 市の財政、市税、出納に関すること
- ◇ 工事等の入札、物品購入に関すること
- ◇ 危機管理に関すること
- ◇ 消防、病院事業に関すること



すぎもと あつし
杉本 淳



はま だ ち あき
浜田 千秋



まつもと としひろ
○松本 利裕



やまもと ひであき
◎山本 秀明



はっとり とし お
服部 敏男



よしかわ しげ き
吉川 茂樹



せき ど しげ き
関戸 繁樹



はら しげ き
原 重樹

総務安全委員会

主な所管事項

- ◇ 環境保全、生活排水対策に関すること
- ◇ 農林業振興、商工振興に関すること
- ◇ 都市計画、まちづくりの推進に関すること
- ◇ 道路、交通対策、河川管理に関すること
- ◇ 上下水道に関すること



おお ुर あ ま さ し
大浦 まさし



さか も と けん じ
坂本 健治



もり ひ さ ゆ き
○森 久往



さおとめ み の る
◎早乙女 実



つじ も と あ ひ さ
辻本 孔久



こばやし ま さ こ
小林 昌子



いひ さ か み つ の り
飯阪 光典



いしはら ひ で こ
石原 日出子

都市環境委員会

主な所管事項

- ◇ 各種医療対策に関すること
- ◇ 国民健康保険、国民年金に関すること
- ◇ 福祉施策に関すること
- ◇ 生涯学習、スポーツ振興に関すること
- ◇ 保育所、幼稚園、小・中学校に関すること



お の ば や し し さ お
小野林 治三夫



スペル・デルフィン



と も だ ひ ろ ふ み
○友田 博文



まつ だ よ し ひ と
◎松田 義人



えん どう た か し
遠藤 隆志



まつ した ひ ろ ゆ き
末下 広幸



な が た か お り
永田 香織



お か ひ ろ こ
岡 博子

厚生文教委員会

決算審査特別委員会

令和元年第3回定例会に上程された平成30年度一般会計、特別会計5件、企業会計3件について、予算が適切に執行されたか詳細かつ慎重に審査するため、9月30日に本委員会を設置し、10月21日～28日に審査を実施いたしました。この結果は次号でお知らせいたします。

◎友田 博文 ○永田 香織 松田 義人
山本 秀明 杉本 淳 スパル・デルフィン
小野林治三夫 早乙女 実 関戸 繁樹
石原日出子 松本 利裕 遠藤 隆志

議会運営委員会

議会の円滑な運営と能率的な議事の進行を協議し、意見調整を図ります。

◎末下 広幸 ○坂本 健治 浜田 千秋
山本 秀明 杉本 淳 早乙女 実
関戸 繁樹 永田 香織 松本 利裕

広報広聴委員会

市議会だよりの編集及び発行、議会のホームページ、議会の映像配信、その他議会の広報及び広聴に関する事項について、協議を行います。

◎関戸 繁樹 ○石原日出子 スパル・デルフィン
岡 博子 飯阪 光典
(議長)吉川 茂樹 (副議長)大浦まさし

一部事務組合議会

行政の能率化・効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理することを目的として設立された公共団体（組合）で、組合議会は、住民の代表機関として組合の行財政運営や事務処理が適正に行われているかチェックするための機関として設置されています。

- ・泉北環境整備施設組合議会
小野林治三夫 原 重樹 関戸 繁樹
永田 香織 松本 利裕
- ・泉北水道企業団議会
スパル・デルフィン 早乙女 実 遠藤 隆志
飯阪 光典 友田 博文

委員会報告

総務安全委員会

9月17日に開催し、個人市民税に係る非課税措置の拡充、軽自動車税に係る環境性能割の臨時的軽減措置等を行う「和泉市税条例等の一部を改正する条例制定について」等10件を審査し、原案どおり可決しました。

都市環境委員会

9月13日に開催し、森林の有する公益的機能の維持増進のため、森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てる「和泉市森林環境譲与税基金条例制定について」等6件を審査し、原案どおり可決しました。

厚生文教委員会

9月12日に開催し、幼児教育・保育無償化等に対応するための「令和元年度和泉市一般会計補正予算（第3号）」等4件を審査し、原案どおり可決しました。

庁舎整備特別委員会

9月18日に開催し、「和泉市新庁舎整備事業実施設計概要（案）」が示されました。障がいの有無、国籍等に関わらず、庁舎を訪れる全ての人に分かりやすく、安全で利用しやすい庁舎となるよう意見・要望しました。

平成24年10月に本委員会を設置し、新庁舎建設に向けて、様々な議論をしてまいりましたが、委員会としての目的は一定達成されたという見解で一致し、本特別委員会は終了することといたしました。

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
和泉市事務分掌条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市税条例等の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市債権管理条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市消防本部及び消防署の設置、名称及び位置並びに消防署の管轄区域に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市森林環境譲与税基金条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市駐車場条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市一般会計補正予算(第3号)	【総務安全所管分】	可決(賛成多数)
	【都市環境所管分】	可決(全会一致)
	【厚生文教所管分】	可決(全会一致)
令和元年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
損害賠償の額の決定及び和解について(太陽光発電設備の飛散による事故)	/	可決(全会一致)
市長の専決処分事項に関する条例の一部を改正する条例制定について	/	可決(全会一致)
市役所庁舎整備に関する諸問題の調査・審査結果について	/	終了決定
上記の他、議案6件、報告5件、監査報告12件、教育委員会報告1件、意見書2件をそれぞれ可決等しました。		



一般質問

16人の議員による市政全般に関する一般質問の内容を一部要約して掲載しています。



町会・自治会加入
促進等補助制度
について
日本共産党 早乙女 実



問 町会・自治会への、掲示板設置補助と、未加入世帯加入促進補助・設立補助制度の、実施状況と申請状況について聞きたい。

答 掲示板設置補助は、かねてから要望もあり、現在実施に向け検討している。未加入世帯加入促進補助・設立補助は、町会連合会の加入促進活動への支援として、今年度より実施し、加入促進補助金は、1町会から新規加入1世帯で申請があり、町会等設立活動補助金は、1町会が設立され申請されている。

問 「手続きがわかりにくい」との声があるが、どのように考えているか。

答 補助金制度については、5月の町会連合会校区会長会議で説明し、内容・申請の流れと、申請書・記入例を、各校区会長・町会長・自治会長へ配付し周知した。その後の問い合わせが多く、質問についての回答を、7月校区会長会議で行った。今後ともわかりやすい周知を行っていききたい。

問 「制度そのものが来年度以降も継続されるのか」といった声もある。来年度以降も継続されるのか聞きたい。

答 町会・自治会活動への支援については、効果検証を行いながら、引き続き取り組んでいきたいと考えている。



がん検診について

公明党 石原 日出子



問 現在は、複数のがん検診の中から、受けたい検診を選ぶ「OPT-IN」方式を実施しているが、逆に受けたくない検診を選んでもらう「OPT-OUT」方式にすれば、明白に受けたくない理由がない限り、検診を受けることになり、より多くの種類のがん検診を受けてもらえる可能性が広がる。本市の受診率の目標達成に向けて「OPT-OUT」方式を導入していただきたいと思いますか。

答 「OPT-OUT」方式による申込書の効果については一定、把握している。しかしながら、本市のがん検診は、個別検診が中心で、医療機関により実施できるがん検診の種類が異なることから、受診者に対して、一律のセットメニューが提示できず、「OPT-OUT」方式のメリットが十分に生かせない。今後も引き続き、先進的に導入している自治体の情報収集に努め、導入のあり方等について調査研究していく。

要望 「OPT-OUT」方式の場合「嫌でない限りはすべて受けてもらいたい」という自治体の意思が伝わりやすくなる。様々な課題はあると思うが特定健診を受けるときに当たり前のようがん検診を受けられるよう、導入の検討をよろしく願いたい。



IRや大阪万博に
対する和泉市の
考え方について

明政会 坂本 健治



問 今話題のIRや大阪万博が2025年の開催に向け準備が急ピッチで進む中、開催予定地の大阪市には大きな効果が明らかになってきたが周辺自治体に対しての具体的な効果が大阪府等から示されているのか。又、本市の戦略的な準備は進んでいるのか。

答 大阪市・府から、現時点においては、具体的な取り組みや府下市町村への支援策等は示されていない。府市の動向を注視し、府内市町村と連携して取り組んでいく。

問 大阪府や大阪市には経済効果等メリットがあるが、本市にはメリットが現時点ではないことは理解する。本市として戦略的な考えがない中、本市の農産物の活用や労働者正規雇用促進等、大きなチャンスがあると考えるが、本市の今後の考えは。

答 大きなチャンスとは考えているが、現時点で具体的な施策の取り組みに至っておらず、議員の提案も踏まえ方策を研究する。

要望 IRや大阪万博開催で、大阪市の一人勝ちであり本市としての準備の遅れが明白になった。今後大阪府や大阪市に周辺自治体との協議の場をつくる要請とともに、本市として戦略的に政策をまとめる必要があると考える。又、関連施設への雇用、農産物の販路拡大等、乗り遅れることなく本市としての利益の確保に全力で取り組んでいただくよう強く要望する。



市の観光戦略
について・教育
バウチャーについて

大阪維新の会 松本 利裕



問 安倍晴明の母の物語「葛葉伝説」で有名な葛葉稲荷神社は、由緒高い施設であるが、信太の森ふるさと館と連携させて、多くの観光客を誘導できるのではないか。

答 本神社は、観光者にとって興味と魅力を感じる施設であると認識している。今後、両施設の関係者と協議しながら、検討する。

要望 和泉市らしい観光の取り組みを展開し作成中の「和泉市観光アクションプラン」が実効性のあるものになることを期待する。

問 本市ならではの教育事業である「いずみ希望塾」も3年目に当たり、4月当初から受講でき、かつ、継続受講できる制度にすべきと考えるが、市の考えは。

答 効果検証を更に進め、開始時期や継続受講も含め検討を進めている。

問 「いずみ希望塾」の成果を更に広げる施策として、文化・スポーツ教室など多様な習い事を助成する「教育バウチャー制度」の導入が必要と考えるが、市の考えは。

答 限りある財源のもと、学校外教育サービスのあり方については議論の必要性はあると考える。

要望 多様な習い事を助成する制度「和泉市版教育バウチャー」の実現を願っている。多くの子育て世代にも住みよい街、結婚したら和泉市に住もうと思ってもらえる活気ある市になるよう希望する。



2020年
本格スタートする
英語教育について
五月会 浜田 千秋



問 本市は他市に比べてA・L・T（外国語指導助手）も多く、現場の先生方も様々な英語学習に取り組んでいるが、その状況について伺う。

答 A・L・Tは基本的に英語のみで指導を行い、加えて担任や専科指導教員が学習をフォローすることで英語に親しめるような環境や雰囲気作りを行い「英語が楽しい」と感じてもらえるように工夫をしている。

問 今年実施された調査結果から、英語が好き、将来英語を使う職業につきたい等の回答は、全国や大阪府の数値を上回り、取り組みの成果が出ていると感じる。来年から授業時間が増えるが時間確保はできているのか。

答 小学校3・4年生で年間35時間の外国語活動、小学校5・6年生で年間70時間の教科としての外国語が全面実施となる。授業時間の確保は着実に準備を行っている。
要望 生徒達が将来どんな職業につくとしても、英語が好きならば、その選択肢は大きく広がるはず。今後も、英語嫌いを作らないようにお願いしたい。また、A・L・Tの研究、指導を行い、現場の先生方と密なコミュニケーションを図ることができるように要望する。



イエナプラン
スクールについて
無会派 小林 昌子



問 イエナプラン教育はドイツのイエナ大学教授が始め、オランダで普及している学校教育で、自分で考え共感力を持ち、社会に働きかけ、協働ができる市民を育てる教育である。今春長野県佐久穂町でイエナプラン教育を実践する学校が開校し、30名の募集に70名が入学し、家族を含めての移住者は40名近いということである。本市における小中一貫校は榎尾中校区と富秋中校区で計画されているが、イエナプラン教育を研究し、本市に導入できるか検討は可能か。

答 イエナプラン教育では「経験する。発見する。探求する。」が学習の基本と言われており、新学習指導要領がめざす教育と一致する部分であり、未来を生きる子どもに求められる資質、能力の育成の観点も踏まえ関連する情報収集に努めたい。

問 今後開校予定の榎尾中校区の学校には新たなまちづくりの核となりうる特色ある教育活動を実施する考えはあるか。

答 具体的には多様な異学年交流、中学校教員による専科指導、前期課程からの部活動参加、小中教員による9年間を見通した見守り、自然環境や地域資源の活用等の観点から「特色ある教育活動」の実施を検討しているが、開校には少なくとも5年程度を要するので、しっかりPRできるような時期を見極めたい。



防災について
公明党 永田 香織



問 倒壊の危険性がある小中学校のブロック塀の改修状況を聞く。

答 安全性の確認ができない全てのブロック塀を撤去し、12月末完了予定で改修中。

問 タイムライン（TL）は災害時、いつ、誰が、何をするのかを基本に行動等を時系列で整理した防災行動計画。TLの効果は、市民が自主的に早めの行動する事。安全確保の為、マイTL（MTL）は各家庭で作成し、共有する事が重要。啓発や周知は。

答 MTLの代わりに全戸に防災ガイドマップを配布した。今後、地域主体のコミュニティTLの作成を検討していきたい。

問 災害時、粉ミルクでは対応しにくい。国が3月に認可した液体ミルクは、常温保存ができ、容器に吸い口を装着すれば、すぐ飲める。液体ミルクの備蓄について聞く。

答 早期の備蓄に向け検討中である。

問 台風時、現状の防災無線システムでは、市民への情報伝達が不十分である。正確で迅速な伝達が可能な防災ラジオが必要では。令和4年度まで国の財政補助制度があるが、本市でのスケジュールを聞く。

答 他市や関連業者、国の補助制度、費用対効果も勘案し、令和2年度以降、予算計上に向け検討中である。

要望 安全・安心の為に、停電時も利用可能な防災ラジオの迅速導入を強く要望する。



行財政改革計画
(躍進プラン)の
後継計画について
明政会 山本 秀明



問 和泉躍進プランの後継計画(骨子案)が示されたが、市の人口減少による税収減、高齢化による扶助費の増などを考えると、公共施設を3割削減していく「公共施設等管理計画」の実行を後継計画に盛り込むことが重要な要素と考えるが市の見解は。

答 公共施設のマネジメント推進は、非常に重要であり、後継計画においてスケジューリングや想定事業などを記載した上で、進捗管理を適切に行っていく。

問 後継計画は、人口減少を前提とした計画になっているが、人口増や、固定資産税等、市税の増収を図る施策として、都市部に隣接する調整区域の、都市計画線引き見直しによる開発促進なども計画に盛り込むべきと考えるが市の見解は。

答 市街地の隣接部や幹線道路沿線等、令和2年度の市街化区域編入に向け大阪府と調整を進めており、結果的に新たな財源確保に繋がると考えている。

要望 財源確保に繋がるならば、後継計画の中にも明記すべきである。又、人事給与改革については、本年6月に策定した「和泉市人事給与制度改革基本方針」に基づき後継計画に明記された項目を先送りすることなく、しっかりと取り組むよう要望する。

その他の質問項目

・青葉台・緑ヶ丘豪雨災害の検証と対策



和泉躍進プラン
(案)の後継計画
について
日本共産党 原 重樹



意見 後継計画で将来人口の減少や少子高齢化を強調しているが、和泉躍進プラン(案)で掲げている定住等魅力あるまちづくりがうまくいっていないことを示している。

問 今後も窓口の委託や民営化、外部委託などは一層進めていくのか。

答 後継計画においてはAIなどのICT技術の活用により業務の効率化を図っていく方針である。

問 市の土地を今後どんどん売却していく方向なのか。

答 活用の見込みの無いものは今後も積極的に売却を進めていく。

意見 後継計画では「次世代に負担を残さない行財政運営の確立」と言っているが、安易な土地の売却は、将来の資産を食いつぶしていることにもなる。

問 財政健全化をいうならば、地方自治体として、まずは国への財政要望を後継計画に記載し、実行すべきではないか。

答 計画に記載する予定はないが、今後様ざまな機会を通じて要望を行う。

意見 後継計画は、今後人口が減少し税収も減り財政も厳しくなるので、市民サービス低下も我慢してもらい、財政健全化のため市の土地も売却し財源にする計画とされているが、本来、地方自治体としての行政の果たす役割を重視すべきだ。



障害者差別解消法
について
五月会 森 久往



問 この法律で求められる、不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供とは。

答 盲導犬を連れてくる方の入店を一方的に断るといった行為を禁止するものなどである。また、車いすの人が利用できるように入り口にスロープを設置したり、広い席を用意するものなどである。

問 本市の取り組みは。

答 差別を解消するための相談及び紛争防止のために、障がい者地域自立支援協議会及び施策推進協議会にて対応を行い、大阪府障がい者差別解消協議会との連携を図っている。また、差別解消のための対応要領を策定し、庁内周知を行い、法の概要を市の広報と同時配布する「障がい福祉課だより」に掲載している。さらに障がい者が困っているときにちょっとした手助けを行う「あいサポート運動」に取り組んでいる。

意見 国際連合で採択された「障害者権利条約」に批准し、国内法が整備され施行された。支え手と受け手の枠をとっぱらって「全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現」を目的としている。私もあなたも全ての人が、障害の特性のカードを持っている一員であるという意識が、障害者差別の解消に重要なことだと考える。



待機児童問題
について
大阪維新の会 飯阪 光典



問 本年4月1日の時点で、本市の待機児童数が72人。これは、大阪府下で東大阪市、島本町についてワースト3となっているが、その要因は。

答 入園希望者数について、昨年より179人増えていることから、保護者の就労による保育ニーズが高くなったことが最大の要因。また、全国的な課題である保育士不足も要因の一つであると考ええる。

問 本市では、保育士確保の為に新規入園を希望する児童の保護者が保育士として就労または就労予定がある場合は、優先入園を行う制度を始めているが、さらなる対策が急務と考える。他の取り組みはあるか。

答 職員並みの待遇とする任期付職員の採用を実施し、また、短時間勤務の採用を検討している。さらに保育士の負担軽減を目的に保育補助者の雇用補助を行っている。

要望 市民ニーズを捉えた地域分析、その為には関係各課の横断的取り組みと情報共有が必要。本市の人口減少を食い止める為には、待機児童問題は待ったなしの問題であり、一刻も早い対策を行い、市民ニーズを捉え、計画を柔軟に見直す事を要望する。

その他の質問項目

・投票所の在り方について
・クーラー設置と今後の学校施設整備について計3問



スポーツ振興で
定住促進、北信太
駅前を進捗
明政会 スペル・デルフィン



問 プロ野球オリックスバファローズの市民観戦デーの今年度参加人数の実績は。

答 1,133名の参加があった。

問 Sゾーンに予定されていた北西部地域の野球場代替施設の現在の状況は。

答 今後様ざまな候補地も含め検討する。

問 池上曽根遺跡をスケートボードやボルダリング等も楽しめる場としてはいかがか。

答 策定中の計画の中で多目的な利用が可能かどうかも含め手法を検討する。

問 eスポーツの部活動としてはいかがか。

答 学校や地域実態に応じ慎重に議論する。

意見 総合スポーツアカデミーに体育館に無償貸与のリングを設置し、世界チャンピオンや金メダリストを輩出する和泉市にしてみないか。健康や精神的な充実感により、住みたくなる魅力的なまちづくりにも繋がるかと考える。

問 北信太駅前整備スケジュール予定は。

答 整備の目標期間を15年とし、短期の目標は駐輪場の仮移転と自由通路の整備、中期・長期は駅前広場・北信太駅前線の整備をめざし、用地交渉も進める。

要望 地域にとって貴重な歴史・文化遺産である信太貝吹山古墳の周辺部も含め、親しめる公園にし、信太地域の歴史や伝説のモニメントや現代アートを設置し、北信太駅前のランドマークにしていきたい。



障がい児
通所支援事業
について
明政会 辻本 孔久



問 10月から幼児教育・保育の無償化により就学前の障がい児施設通所費も3歳児以上は無償となる。しかし、小学生以上の児童等が利用している放課後等デイサービスの従来通りの負担がある。そこで過去3年の利用者数と自己負担総額を聞きたい。

答 平成28年度312名で約1,200万円、29年度380名で約1,500万円、30年度427名で約1,800万円である。

問 支援等必要とする児童等が年々急増している。今年度は500名になるのではと心配している。また利用者負担があることから利用できない児童等がいるのではないかと考え、この事業についても自己負担額を公費で負担することはできないのか。

答 必要な支援がしっかりと行き届き自己負担軽減にもつながるよう、国・府への要望や他市の状況を注視しながら、障がい児支援事業の充実に努める。

要望 「他市の状況を注視しながら」との答弁であったが和泉市が他の自治体を参考にしているのではなく、本市独自の政策を掲げ、他の自治体より先行した質の高い障がい児支援の充実を強く要望する。

その他の質問項目

・保育所等の待機児童について
・発達障がい児の支援について
・公用車の事故について



信太山西側の
整備について
(駐輪場の設置を)
公明党 吉川 茂樹



問 今年度、JRが阪和線「信太山駅」のバリアフリー化整備を行うが、その内容とスケジュールはどうか。

答 整備内容については、駅東側は、スロープの改良、多機能トイレの新設、警告誘導ブロック等の設置、また西側はスロープの新設、西口改札の新設等を行う。スケジュールについては、令和2年の3月末完成予定と聞いている。

問 西側に改札が設置されると、人の流れや車等の流れが変わる。また、西側改札が設置されることによって駐輪場が必要と思うが、駐輪場整備の考えは。

答 現時点では、駅の西側に駐輪場を整備する予定はない。

問 西口改札が新設されても、西側に駐輪場がなければ、南一番踏切の現状は変わらない。車、バイク、人や自転車の往來を見ると非常に危険な状況である。市も認識されていると思う。再度伺う。駅西側に駐輪場設置の考えは。

答 西口改札の新設で歩行者の横断は一定少なくなると考えられるものの、自転車の方は東側の駐輪場利用のため踏切を横断する必要があり、危険な状況は変わりないと認識している。このことから、民間駐輪場の整備状況等を見ながら、設置に向けて前向きに検討していく。



和泉市版
おでかけ応援バス
の内容について
明政会 大浦 まさし



問 和泉市版おでかけ応援バスについて、堺市型の(100円で市内からどこまでもバスに乗れる)おでかけ応援バスを念頭に議論してきたと思うが進捗状況を聞きたい。

答 堺市型については車載器など大規模なシステム改修が必要となり、費用も時間もかかり実施困難と判断し、「おでかけチケットを交付する方式」での補助を考えている。

問 私も堺市型のおでかけ支援を研究し、日を限定して段階を踏みながらの導入を考えていたがバス会社から段階導入については断られた事と、国のマイナンバーカードの導入取り組みの動向も踏まえて事業の見直しを図る方が良いかもしれない。また、町内にバスが走っていない地域が市内には結構多くある事から不平等を解消するには新たな支援方法が必要だと考えるがどうか。

答 この事業は公共交通の活性化も事業目的であり、タクシーなどのバス以外でも使えるような方法も検討したい。

要望 今回初めて概要が示されたチケット方式だが、今回は和泉市版おでかけ支援をスタートさせる事を最優先に考えていただきたい。令和2年度中の早い時期には予定通り実施していただく事を再度要望する。

その他の質問項目

- ・水泳記録会民間室内プール利用について
- ・軽度難聴児に対する補聴器補助について



特色ある教育
活動への予算の
確保について
大阪維新の会 遠藤 隆志



問 特色ある教育活動の実施に向けては、どのような学校教育予算を確保されているのか伺う。

答 学校園運営費補助金として毎年、各校へ交付している。

問 全国では、既に「学校ファンド」を活用し教育予算を充実させている学校がある。こうした反面「学校ファンド」は保護者等の個人や地域住民・商店等が主体となって運営を行っており、一部の学校では、個人や団体の寄付に加え、PTA会費や地域の協力店舗のポイントカードなどから資金を調達し、さまざまな教育活動に活用され効果を上げているという報告もなされている。私としては教育予算の充実のために、市民が主体となって行っていると違和感を感じる。本市として、「学校ファンド」の取り組みをどのように考えているのか伺う。

答 学校支援活動の活発化、保護者・地域ニーズに応じた教育の実現などの効果がある一方、課題もあることを踏まえ、特色ある教育活動の推進としての「学校ファンド」については、情報収集を努めるとともに、研究する。

要望 本市が主体となって、「特色ある教育活動への予算の確保」について、引き続きご検討いただき、教育現場の期待する施策の実現を強く要望する。

2件の意見書を可決

各関係省庁へ送付しました。

- ・ 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
- ・ 太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

人事案件に同意

次の方を市長が選任することについて、議会として同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

ふじわら ゆうじ
《再任》藤原 優次氏（浦田町在住）

任期：令和元年10月22日～令和4年10月21日

トピックス

◆子ども議会

令和元年8月7日（水）に、議場において、市内各中学校及び義務教育学校後期課程の生徒代表21人が和泉市の未来像について、市長及び担当部長と議論いたしました。

議員の年賀状・寄付は禁止されています

公職選挙法により年賀状などの時候のあいさつ状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことや、寄付を行うことが禁止されています。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

今定例会で行われた議会役員
の改選により、広報広聴委員
会のメンバーが新しくなり
ました。
市民の皆さまに議会活動を
より分かりやすくお伝えする
ため、市議会だよりや映像配
信などホームページの充実
に努めてまいります。

編集後記

広報広聴委員一同

第4回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間が変更される場合がありますので、詳しくは電話：0725-99-8154 議会事務局へお問合せください。

日程	会議	場所	開会時間
11月20日(水)	議会運営委員会	委員会室	午前10時
11月27日(水)	本会議(議案審議)	議場	午前10時
12月2日(月)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月3日(火)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月4日(水)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月6日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
12月12日(木) ～16日(月)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
12月17日(火)	本会議(議案審議)	議場	午前10時

第3回定例会・委員会の傍聴

	開催期間	傍聴者	ライブ映像 中継閲覧者(※)
本会議	9月9日 ～10月3日	4人	45人
常任委員会	9月12日 ～17日	2人	40人
庁舎整備 特別委員会	9月18日	0人	14人

※ 開催日ごとのライブ中継閲覧者数のうち、最大アクセス時の人数を累計したものです。

市議会へのご意見をお聞かせください

市民の皆さまにとって、より身近で開かれた市議会となるようご意見を募集しています。電話、ファックス、市議会ホームページの「ご意見・お問い合わせ」フォームなどからお寄せください。

〒594-8501
和泉市府中町二丁目7番5号
和泉市役所 議会事務局
電話：0725-99-8154（直通）
FAX：0725-43-4525
HPアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

